

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/09/05号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

## 中国ロックダウンで戻り売られる

NY原油先物相場は、1バレル=87ドル前半まで下落する展開になった。週前半は石油輸出国機構（OPEC）プラスが減産に踏み切る可能性、在庫減少傾向の再評価を背景に、一時97.66ドルまで上昇した。しかし、その後は中国で新型コロナウイルス対策のロックダウン（都市封鎖）が広がりを見せたことが警戒され、一気に90ドルの節目を割り込む展開になった。安値は85.98ドルに達している。

中国では新型コロナウイルスの新規感染者数が急増している訳ではないが、深セン、大連、成都などの主要都市でロックダウンが導入されている。これまでであればロックダウンの導入は見送られた可能性が高いが、10月に中国共産党大会の開催を控えていることもあり、中国政府が感染対策を強化している模様だ。中国経済、石油需要の下振れリスクが警戒される中、コモディティ市場でも全体的に売り圧力が強く、原油相場も下押しされている。

米エネルギー情報局（EIA）の米石油在庫（8月26日時点）は、原油が前週比333万バレル減、ガソリンが117万バレル減、石油精製品が11万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

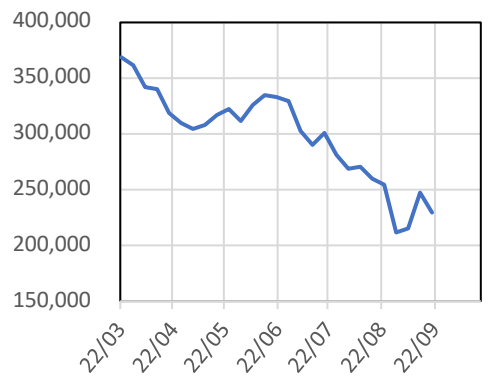
## OPECプラス会合に注目、需要不安の上値圧迫続くか

需要不安と供給不安が交錯する中、短期筋主導の乱高下が続く。前週はOPECプラスの減産に対する警戒感と、需要不安とが交錯した結果、10ドルを超える値幅が形成されている。足元では中国のロックダウンに対する警戒感が強いいため、更にロックダウンの対象が広がると85ドルの節目を割り込むリスクを抱えている。一方で、在庫のタイト感は維持されており、OPECプラスが減産対応に踏み切る可能性が高まる中、産油国の口先介入などがあると容易に90ドル前半半まで切り返すことになる。現行価格水準での乱高下が続く、短期的な下振れリスクを警戒しつつも、大きく下押しすると物色妙味があろう。

9月5日にOPECプラス会合が開催される。10月の産油政策が協議されるが、生産枠据え置きがメインシナリオになっている。サウジアラビアなどが減産対応の可能性を示唆しているが、イラン核協議の不透明感もあり、今会合では増産対応を止める一方で、減産対応にまでは踏み込まない見通し。仮に減産が合意されるとサプライズ感から大きく上昇する可能性がある。また、OPECプラスが次回会合以降で減産対応に踏み切る可能性が意識された際にも、押し目買いが膨らみ易くなる。

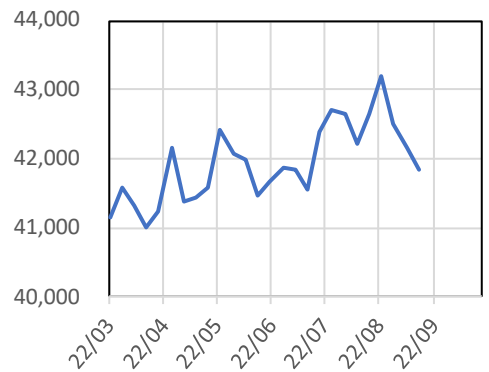
米連邦準備制度理事会（FRB）などがインフレ対応の金融引き締めスタンスの強化に動いていることで、株安・ドル高傾向が加速している。また、景気減速に対する懸念も強まっている。中国のロックダウンと合わせてリスクオフ傾向が強まると、原油市場でも投げ売りが膨らむ可能性がある。流動性の低下で、値が飛び易い環境が続く。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



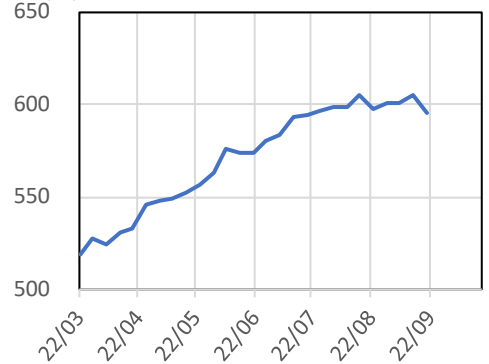
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

